

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-536879(P2004-536879A)

【公表日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【年通号数】公開・登録公報2004-048

【出願番号】特願2003-517002(P2003-517002)

【国際特許分類】

C 0 7 C	59/54	(2006.01)
A 6 1 K	31/085	(2006.01)
A 6 1 K	31/192	(2006.01)
A 6 1 K	31/216	(2006.01)
A 6 1 K	31/36	(2006.01)
A 6 1 K	31/4035	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/04	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 C	43/23	(2006.01)
C 0 7 C	59/72	(2006.01)
C 0 7 C	69/732	(2006.01)
C 0 7 C	69/734	(2006.01)
C 0 7 C	69/736	(2006.01)
C 0 7 C	229/34	(2006.01)
C 0 7 D	317/54	(2006.01)
C 0 7 D	209/48	(2006.01)
C 0 7 F	7/18	(2006.01)

【F I】

C 0 7 C	59/54	
A 6 1 K	31/085	
A 6 1 K	31/192	
A 6 1 K	31/216	
A 6 1 K	31/36	
A 6 1 K	31/4035	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	35/04	
A 6 1 P	43/00	1 0 5

C 0 7 C	43/23	C
C 0 7 C	59/72	
C 0 7 C	69/732	Z
C 0 7 C	69/734	Z
C 0 7 C	69/736	
C 0 7 C	229/34	
C 0 7 D	317/54	
C 0 7 D	209/48	
C 0 7 F	7/18	A
C 0 7 F	7/18	J

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月5日(2005.7.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

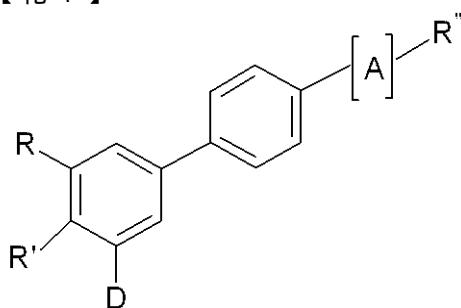
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)の化合物：

【化1】



(I)

[式中：Rは、アルキル、シクロアルキル、ヘテロシクロアルキル、フェニル、置換されたフェニル、アダマンチル（ここで、少なくとも1つのCHは、C - ハロゲンまたはC - アルキルによって置換されていてもよく、CH₂の1つはO、S、CH - ハロゲン、CH - アリール、CH - ヘテロアリール、CH - アリールアルキル、CH - ヘテロアリールアルキル、CH - アミノによって置換されていてもよい）を表す；

R'は、OR^{'''}、OCOR^{'''}、COR^{I V}を表す；

R' - Dは、O - (CH₂)_n - Oを表す；ここでn = 1 - 3である；

Dは、H、OH、O - アルキル、(CH₂)_n - NH₂、(CH₂)_n - NH - アルキル、(CH₂)_n - OHを表し、n = 1 - 4である；

R^{''}は、テトラゾール、SO₃H、NH₂SO₃H、CHO、COOH、COO - アルキル、CONHOH、CONH - アリール、CONH - C₆H₄OH、CH₂OR^{'''}；PO₃H₂；CO - (CH₂)_n - アリールを表し、n = 0 - 4である；

R^{'''}は、H、アルキル、アリール、アリールアルキル、ヘテロアリール、ヘテロアリールアルキル、SO₃H、またはD - およびL - グリコシルを表す；

R^{I V}は、H、OH、OR^{'''}を表す；

[A]は、[C(R^V, R^{V I}) - C(R^{V I I}, R^{V I I I})]_n、[C(R^{I X}) = C(R^X)]_n、[C - C]_nを表し、n = 0 - 3である；

R^V 、 R^{VI} 、 R^{VII} 、 R^{VIII} は、H、アルキル、ハロゲン、OH、OR^{'''}、NO₂、NH₂、アリール、-O-、-CH₂-、CX₂-（ここでXはハロゲンである）、-CH(R^{'''})-を表す；

R^{IX} 、 R^{X} は、H、OH、ハロゲン、アルキル、アリール、CN、NO₂、COOR^{'''}を表す]。

【請求項2】

活性成分として式(I)の化合物および少なくとも1つの医薬上許容される賦形剤および/または希釈剤を含む医薬組成物。

【請求項3】

血管新生の変化に関連する疾患の治療のための式(I)の化合物を含む医薬組成物。

【請求項4】

疾患が、関節炎疾患、腫瘍、転移、糖尿病性網膜症、乾癬、慢性炎症、およびアテローム性動脈硬化症からなる群から選択される、請求項3に記載の医薬組成物。

【請求項5】

疾患が糖尿病性網膜症である、請求項3または4に記載の医薬組成物。

【請求項6】

疾患が乾癬である、請求項3または4に記載の医薬組成物。

【請求項7】

疾患が慢性炎症性疾患である、請求項3または4に記載の医薬組成物。

【請求項8】

疾患がアテローム性動脈硬化症である、請求項3または4に記載の医薬組成物。

【請求項9】

関節炎疾患の治療のための、請求項3または4に記載の医薬組成物。

【請求項10】

式(I)の化合物を含む抗腫瘍活性を有する医薬組成物。

【請求項11】

抗腫瘍活性が細胞障害性である、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項12】

抗腫瘍活性がアポトーシス誘導性である、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項13】

抗腫瘍活性が抗血管新生性である、請求項10に記載の医薬組成物。

【請求項14】

腫瘍転移の予防および治療のための式(I)の化合物を含む医薬組成物。

【請求項15】

腫瘍が、肉腫、癌腫、癌様体、骨腫瘍、神経内分泌腫瘍、リンパ白血病、骨髄球性白血病、単核球性白血病、巨核球白血病およびホジキン病からなる群から選択される、請求項10から14のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項16】

腫瘍が急性前骨髄球性白血病である、請求項15に記載の医薬組成物。

【請求項17】

1または複数の式(I)の化合物と1または複数の既知の抗癌薬からなる組合せ。

【請求項18】

抗癌薬が、アルキル化剤、トポイソメラーゼ阻害剤、抗チューブリン剤、インターカレート化合物、代謝拮抗剤、ピンカアルカロイドを含む天然物、エピポドフィロトキシン、抗生物質、酵素、タキサン、細胞分化化合物、イレッサまたはグリベックを含むホスホロシンキナーゼ阻害剤、TRAIL（腫瘍壊死因子-関連アポトーシス-誘導性リガンド）、DR4またはDR5受容体（TRAILの部位）のアゴニスト、免疫抗腫瘍療法用化合物、抗腫瘍ワクチン、およびインターフェロン、からなる群から選択される、請求項17に記載の組合せ。

【請求項19】

請求項 17 に記載の組合せおよび 1 または複数の医薬上許容される賦形剤または媒体を含む医薬組成物。

【請求項 20】

腫瘍治療のための、1 または複数の既知の抗癌薬と組合された 1 または複数の式 (I) の化合物を含む医薬組成物。

【請求項 21】

腫瘍治療のための、1 または複数の既知の抗癌薬と組合された 1 または複数の式 (I) の化合物を含む医薬組成物であって、式 (I) の化合物が抗癌薬の補助剤として存在することを特徴とする医薬組成物。